

松浦よかところ節

一、城はなくとも 梶谷に星鹿

金井・津崎の 御門をかまえ

光る櫓が 天主閣

※松浦の入江におしよこめ おしよこめ

ヨカトコ ヨカトコ ショコヨイヨイ

ショコヨイヨイ

二、ござれござれよ 松浦にござれ

おてや滝水 不老の御山

六ツの地藏に 魚の山

(※ くりかえし)

三、親爺船かな 玄海灘の

なびく大漁の 采をふり

かかのよろこぶ 顔見たや

(※ くりかえし)

四、今年しゃしあわせ 思うこたあ叶うた

とどけ鎗音 豊かなみのり

万の蔵より 子は宝

(※ くりかえし)

五、そろろ浴衣に 下駄の齒が揃う

ほんに今様な 浮立の踊り

松浦人の 心意氣

(※ くりかえし)

松浦よかところ節

振付 松浦登糸子  
表現 子ズメとしこ

踊り方 輪踊り、反時計回り、又は直進  
踊り始め 八呼間待ち、手拍子をする



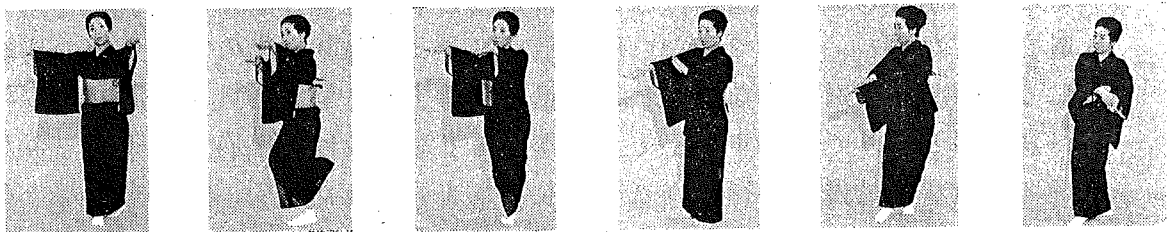
(一) 四呼間 進行方向に向き、胸前で手拍子、チョンチョンがチョンと打つ(季節の花などを持つ時は頭上になびかせる)

(二) 一ツ 右足を出し、両手を胸前から、肩の高さで左右に開く(横一文字を書く)

(三) 二ツ 右足を上げ、両手の掌を外に向けて、頭上、前方に上げる。右足を下し、両手を膝に伏せ下す

(四) 三ツ 左足を前に蹴り出し、両手を胸前に下方に開く

(五) 四ツ 左足に体重を乗せ、右足を右横に蹴る様に出し、両手を顔の前から「八」の字に開く



(六) 五ツ 左足を右足の前に出し、両手を右肩前より、左下に手拍子を一ツ打ち下す

(七) 六ツ 右足を右に出し、手拍子を左から右へ手拍子をし乍ら引く(一文字を書く)

(八) 七ツ 右足に、左足を揃え乍ら、右手を右斜下に伏せ伸し、左手を添える

(九) 八ツ九ツ 右肩が先行する様に向きを変えて、両手を伏せて目と肩の高さの間で波の様ななびかせ乍ら、右足より三歩前進し、四歩目の左足を右足に付け上げる

(十) 十 十一 向きを、左肩先行にして八の反対動作を行う

(十一) 十二のチョンチョンがチョン 右足を前に出し、両手を胸前から、左右に開き、右足を左足に引き揃えて、チョンチョンがチョンと一の動作に戻ります

松浦よかところ節

松浦よかところ節

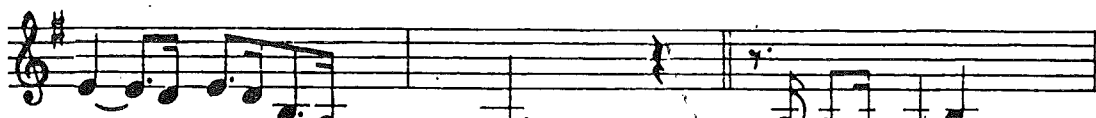
作詩	本條秀太郎
作曲	市川昭介
編曲	山中博
歌手	岸千恵子



しろはなくー とーもかじ やにーほーしー



か かーない つぎきの ども



んーをかーまー え ひーかる



やぐーらーが てーんしゅーかーく



まつらのいりえにおしよこめおしよこめ ヨーカ トコ



1. 3. 4. 5.

ヨカトーコ ショコ ヨイヨイ ショコヨイ ヨイ

